



# 新潟県の経済情勢報告

令和6年8月6日  
財務省関東財務局  
新潟財務事務所

お問い合わせ先  
関東財務局新潟財務事務所財務課  
電話番号 025-281-7503

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項目	前回（6年4月判断）	今回（6年7月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

（注）6年7月判断は、前回6年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、回復に向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、改善しつつある。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（6年4月判断）	今回（6年7月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	回復に向けたテンポが緩やかになっている	
生産活動	弱含んでいる	緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	改善しつつある	改善しつつある	
設備投資	5年度は増加見込みとなっている	6年度は減少見込みとなっている	
企業収益	5年度は減益見込みとなっている	6年度は減益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超幅が拡大している	「下降」超幅が縮小している	
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年を下回っている	前年を上回っている	

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「回復に向けたテンポが緩やかになっている」

ドラッグストア販売額、ホームセンター販売額は前年を上回っている。百貨店・スーパー販売額は前年並みとなっている。コンビニエンスストア販売額、家電大型専門店販売額、乗用車新車登録届出台数は前年を下回っている。宿泊や飲食サービスは、回復しつつある。このように個人消費は、回復に向けたテンポが緩やかになっている。

## (主なヒアリング結果)

- 天候不順等の影響で野菜等の価格が上がり、買上点数を押し下げている一方、各種商品の値上げにより客単価が上昇した結果、売上高では前年並みとなっている。また、長引く物価上昇により節約意識が高まっている印象を受ける。(百貨店・スーパー)
- 物価高騰により客単価は上昇しているものの、来店客数、売上高が減少している。(コンビニエンスストア)
- 能登半島地震、暖冬の影響等を受けた前期(1-3月期)と比較しても来店客数、売上高において回復がみられなかったことやコロナ禍における需要増の反動が続いており需要の増加を実感できない。(家電量販店)
- 4月・5月とも天候が良く、園芸・グリーン部門の販売が好調である。(ホームセンター)
- 一部の自動車メーカーの出荷台数が想定以上に減少したことにより、配車台数が制限され、柱の新車部門の販売が伸びない。(自動車販売)
- 売上高・来店客数ともにコロナ禍後の経済正常化のなかで回復傾向が続いている。(飲食サービス)
- 4月は北陸応援割により顕著に業況が改善し、ゴールデンウィーク以降も高い客室稼働率であり、前年の全国旅行支援の効果を上回っている。(宿泊)

## ■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

生産を業種別にみると、食料品、化学、金属製品、電気・情報通信機械、輸送機械は上昇しているほか、汎用・生産用・業務用機械は堅調に推移しており、全体としては、緩やかに持ち直しつつある。

- 新商品の投入効果により需要が減少しなかったことや広告・宣伝等の販売促進活動を増加させたことにより売上高を前期並みに維持することができた。(食料品)
- 生成AI関連の需要が強くなり、デバイス系に用いられるロジック半導体等の関連部材が海外において好調となっていることや、スマートフォン向け部材が引き続き堅調である。(化学)
- スマートフォン、タブレット向け電子材料が好調な動きとなっていることや、サーバー系材料の需要が回復基調となっている。(情報通信機械)
- 半導体需要の底入れの兆しによる半導体関連向け工作機械の受注増は今のところ軽微となっているが、米国での設備投資関連の需要が高まっており、建設機械や一般工作機械の受注は堅調に推移している。(生産用機械)
- 中国向けではEV化の進展により日系メーカーが苦戦していることや、欧州向けでは中国メーカーの台頭によって減産しており、全体として低調となっている。(輸送機械)

## ■ 雇用情勢 「改善しつつある」

新規求人数は減少しているものの、有効求人倍率は高水準で推移していることから、雇用情勢は、改善しつつある。

- 従業員の不足が継続しており、特に生産(組み立て)部門で不足感が強い。(製造業)
- 従業員数は、退職者数が採用者数を上回る状況が続いており不足感が強まっている。特に技術部門における資格保有者の不足により受注が取れない状況が生じている。(建設)

## ■ 設備投資 「6年度は減少見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年4-6月期

- 6年度の設備投資計画をみると、製造業では前年比7.0%の減少見込み、非製造業は同1.4%の増加見込みとなっており、全産業では同3.0%の減少見込みとなっている。

## ■ 企業収益 「6年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」6年4-6月期

- 6年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業は前年比18.0%の減益見込み、非製造業は同3.0%の増益見込みとなっており、全体では同7.5%の減益見込みとなっている。

## ■ 企業の景況感 「『下降』超幅が縮小している」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年4-6月期

- 景況判断BSIをみると、全規模・全産業で「下降」超幅が縮小している。先行きについては、「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

## ■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家は前年を下回っているものの、貸家、分譲住宅は前年を上回っている。

## ■ 公共事業 「前年を上回っている」

- 公共工事請負金額は前年を上回っている。国、県は前年を下回っているものの、市町村、独立行政法人等は前年を上回っている。

# 新潟県の経済情勢報告

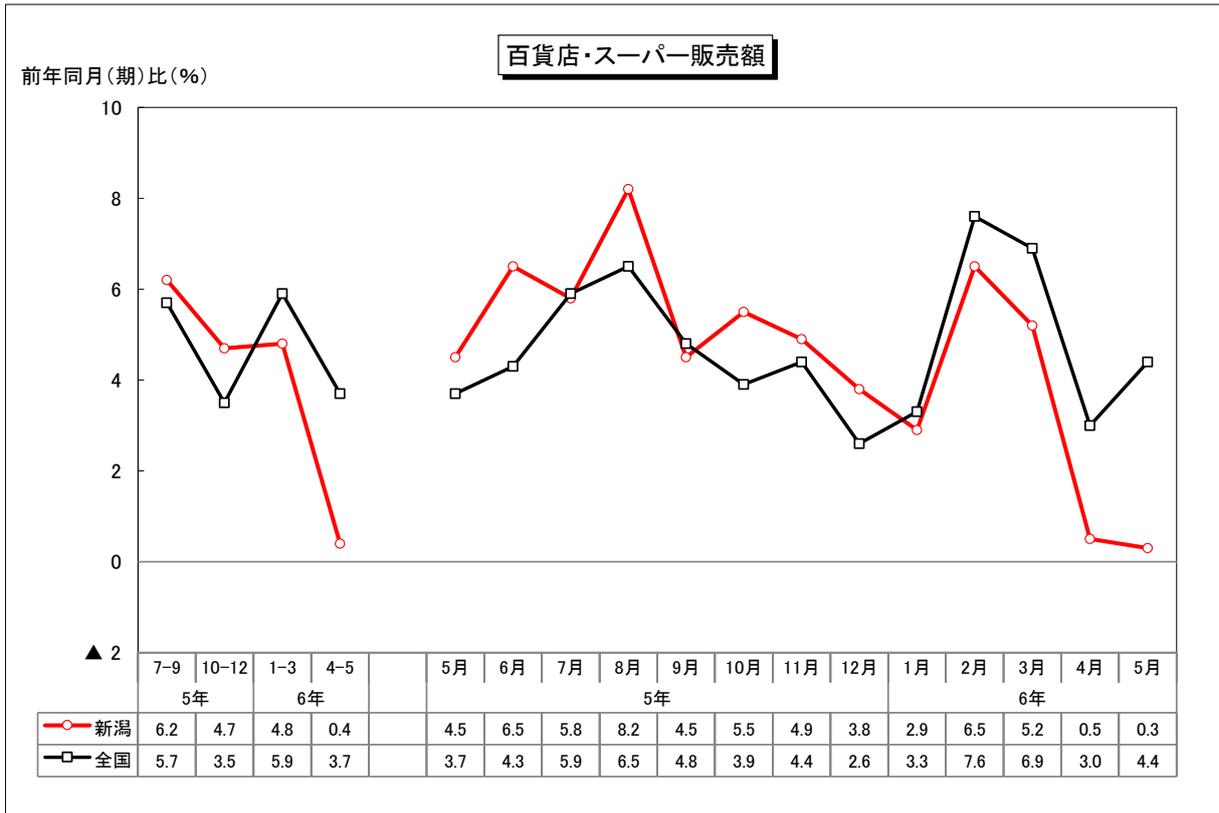
## 資料編

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

# 1. 個人消費

回復に向けたテンポが緩やかになっている

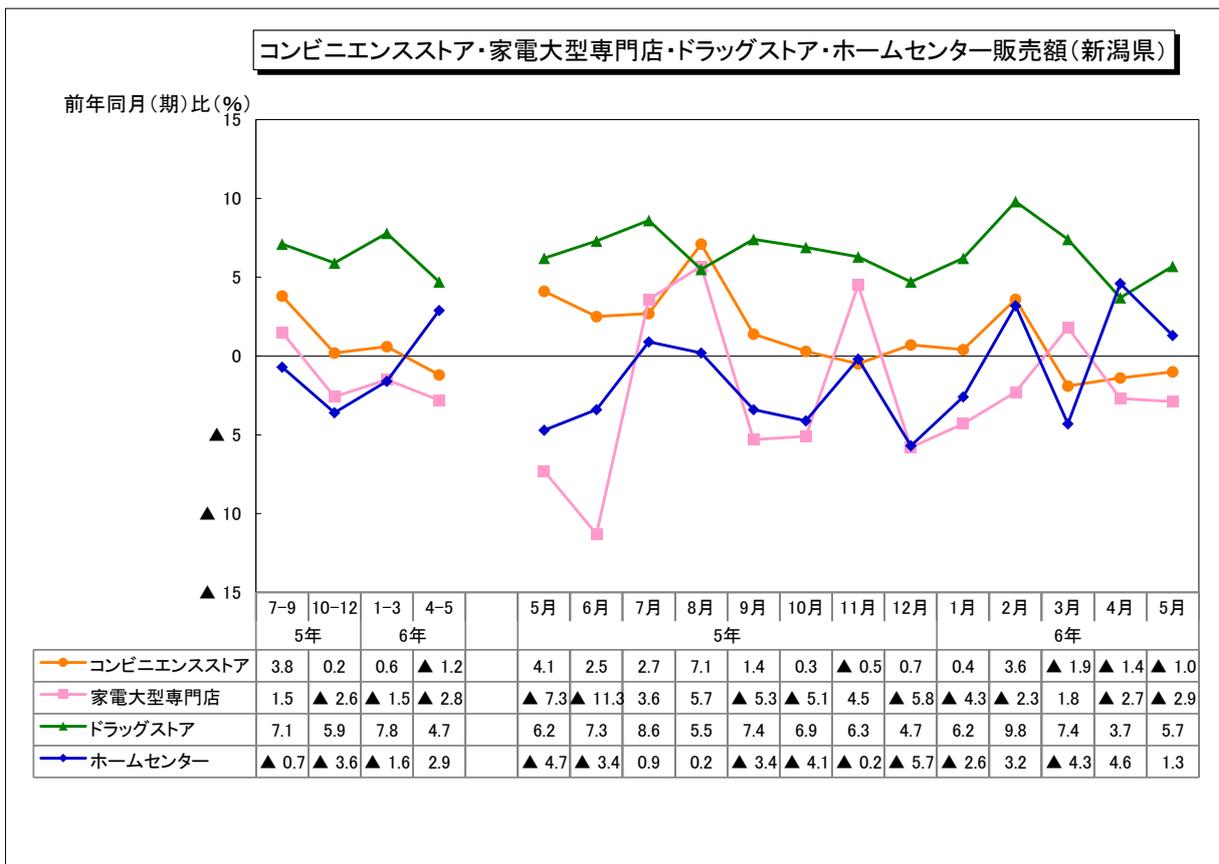
【グラフ1】



(注)前年同月(期)比は全店ベース。

【経済産業省】

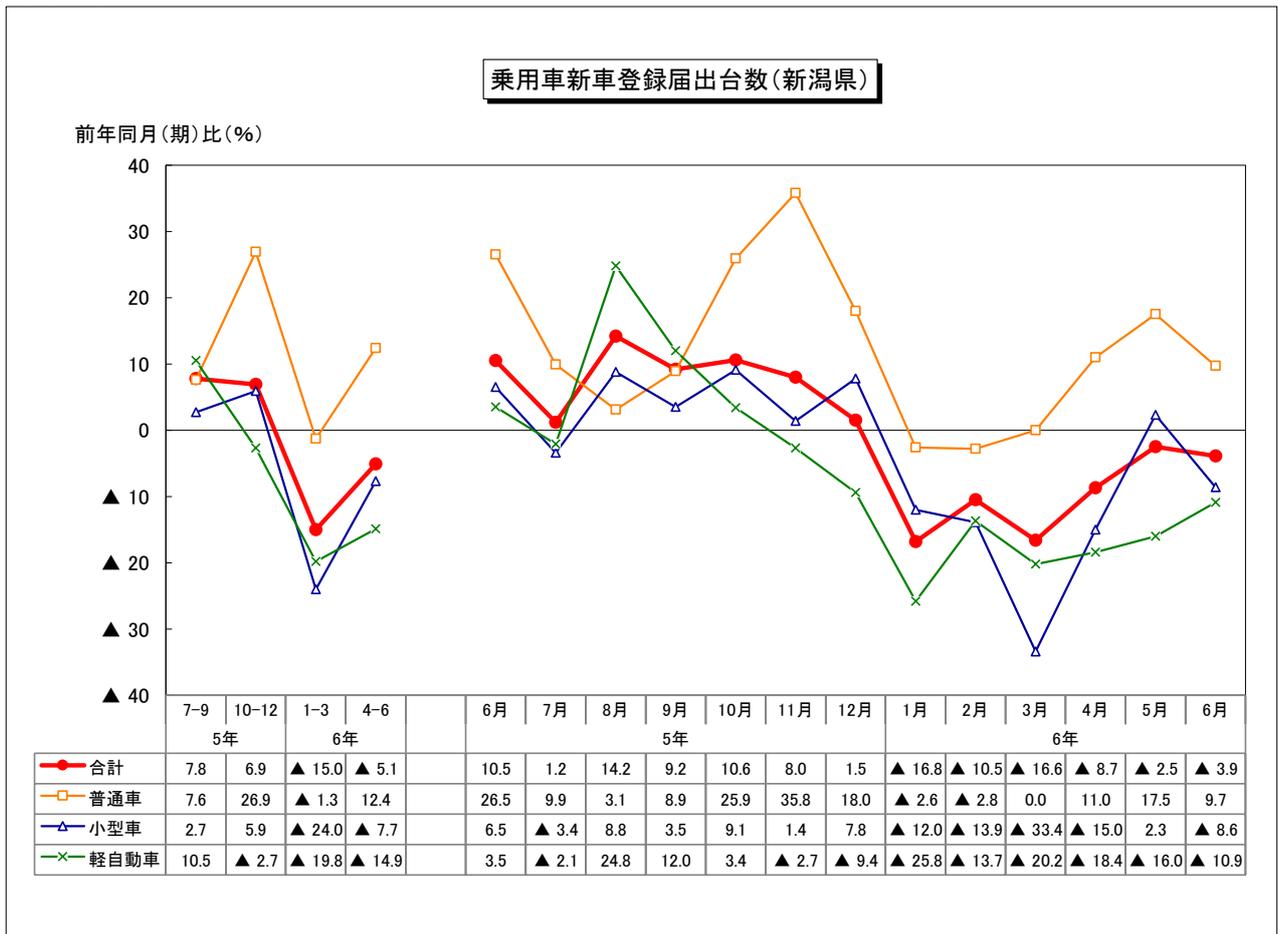
【グラフ2】



(注)前年同月(期)比は全店ベース。

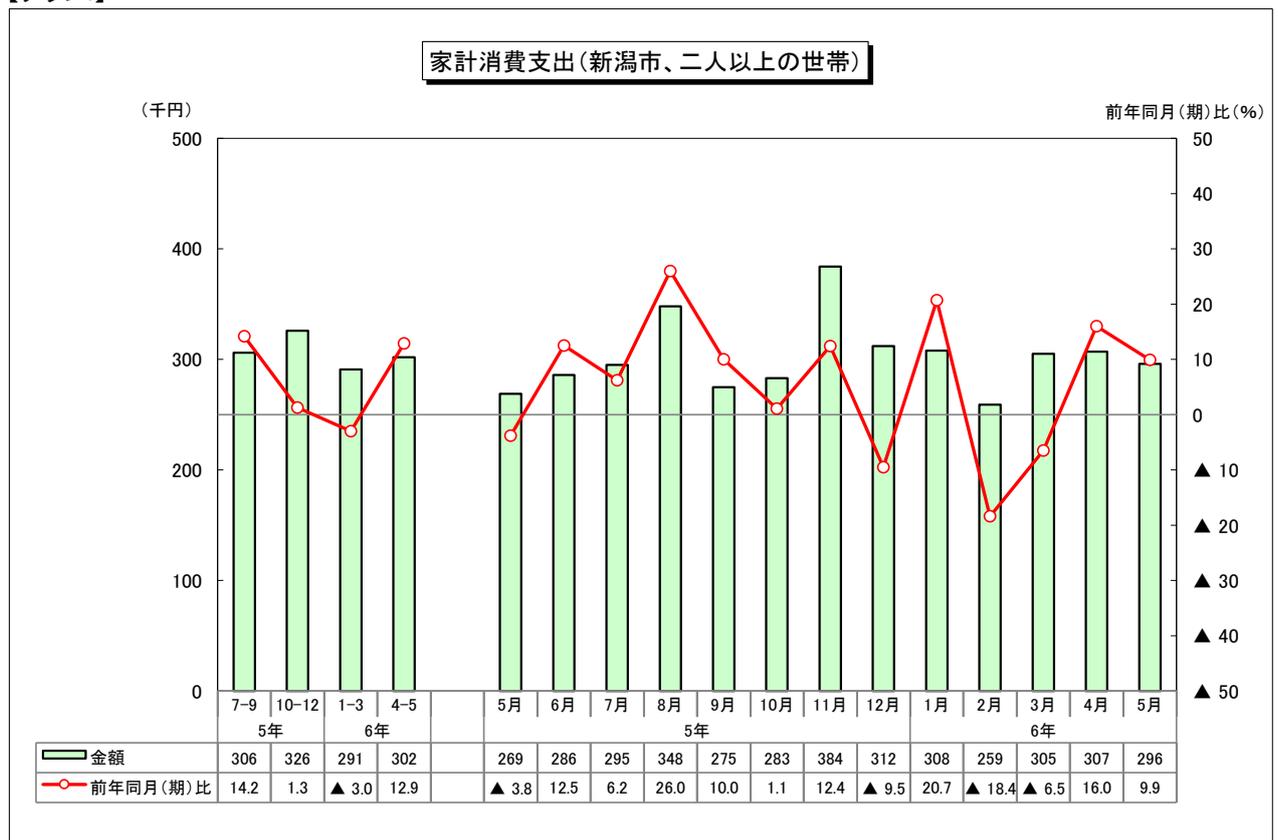
【経済産業省】

【グラフ3】



【日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会】

【グラフ4】

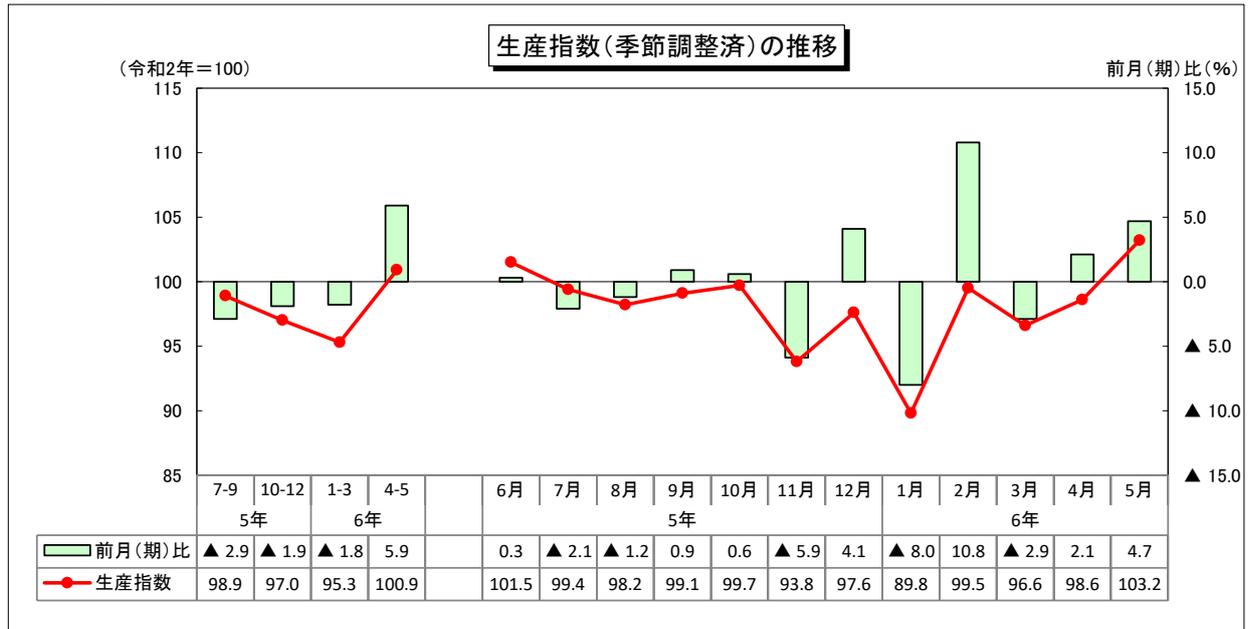


【総務省】

## 2. 生産活動

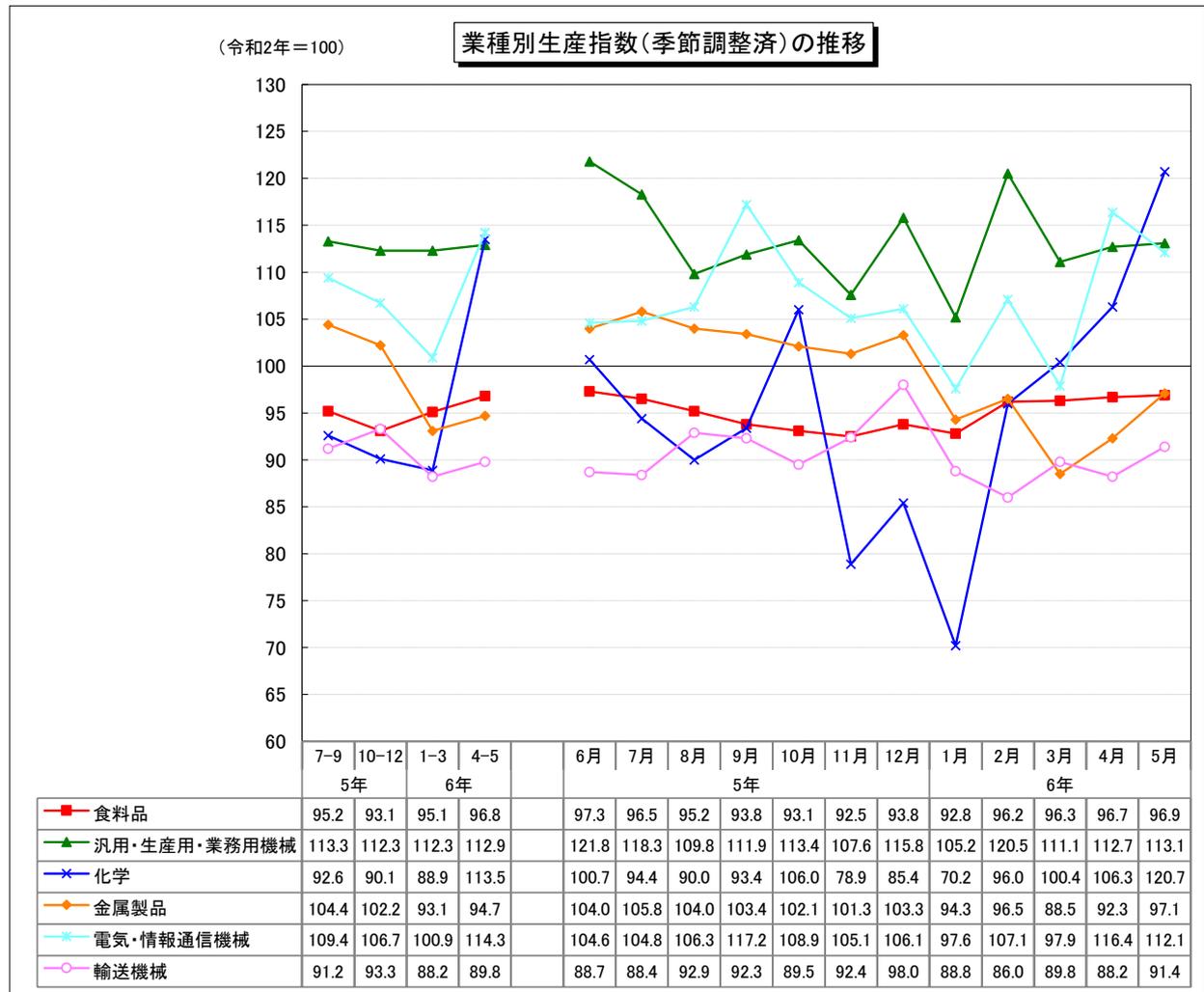
緩やかに持ち直しつつある

【グラフ5】



【新潟県】

【グラフ6】

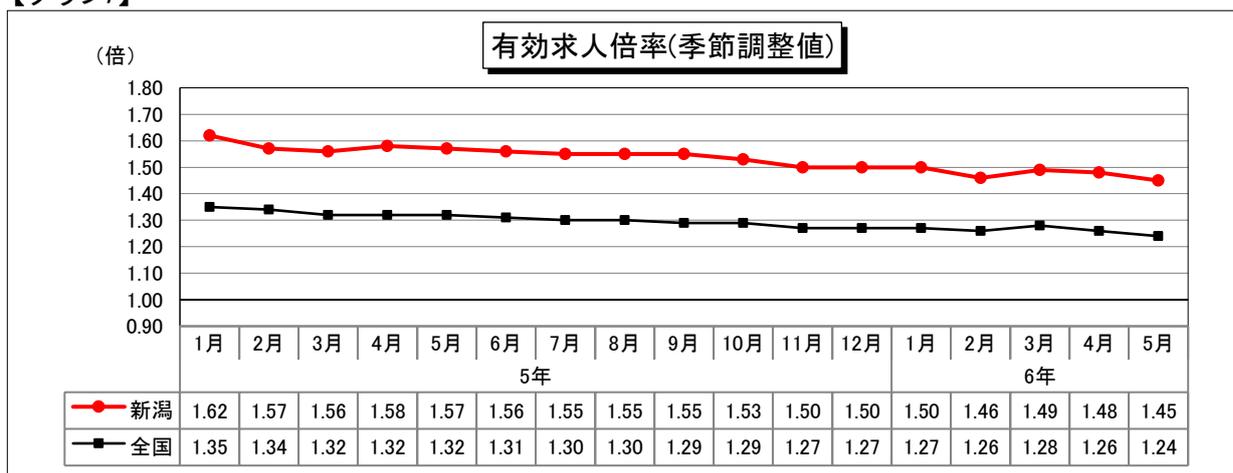


【新潟県】

### 3. 雇用情勢

改善しつつある

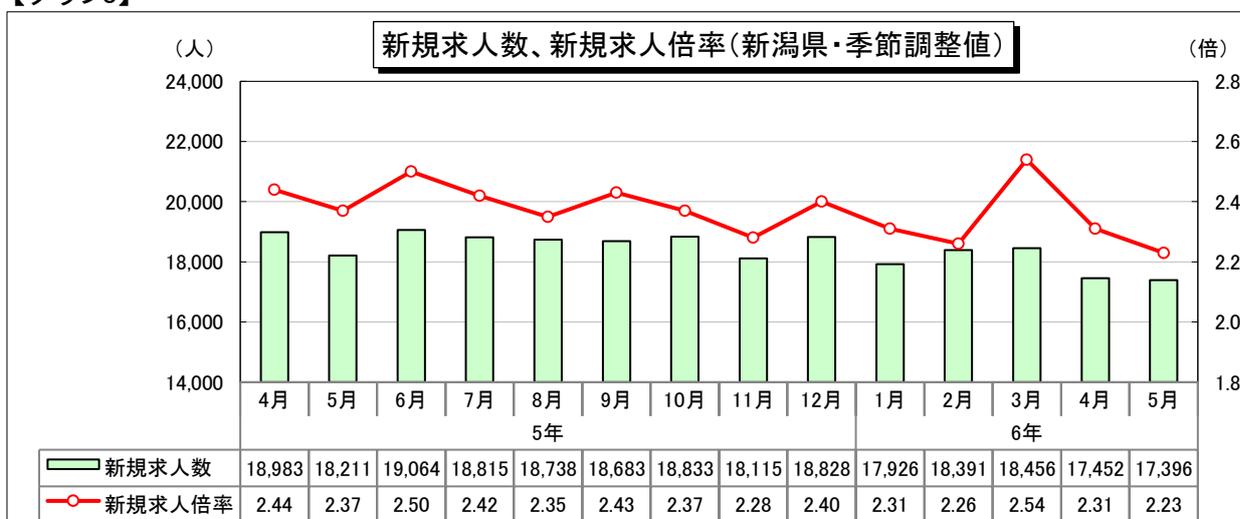
【グラフ7】



(注)パートを含む。

【厚生労働省】

【グラフ8】



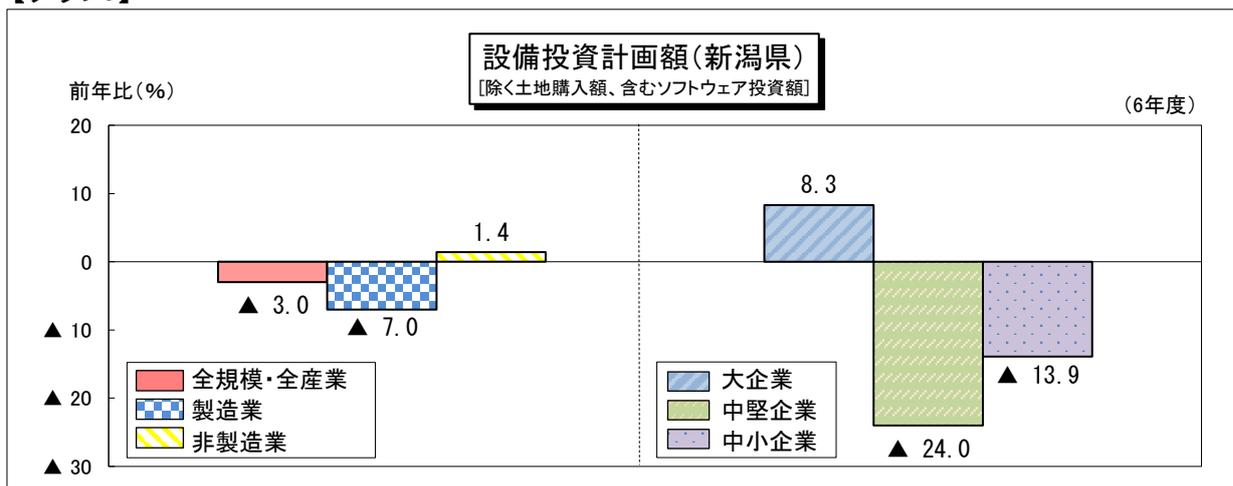
(注)パートを含む。

【厚生労働省】

### 4. 設備投資

6年度は減少見込みとなっている

【グラフ9】

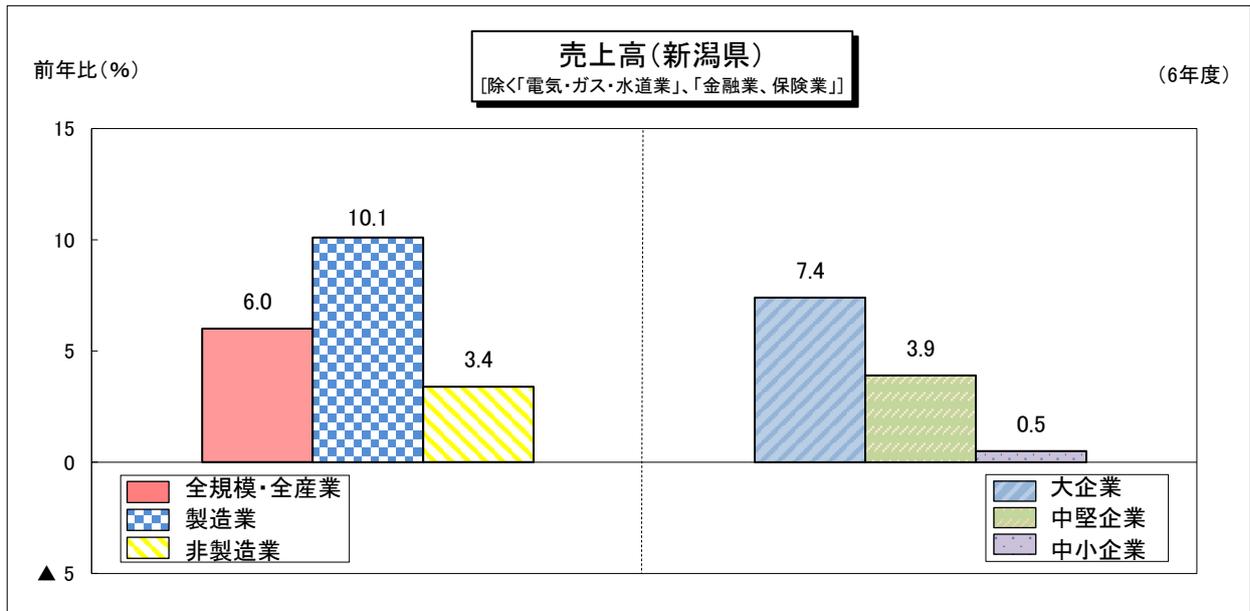


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

## 5. 企業収益

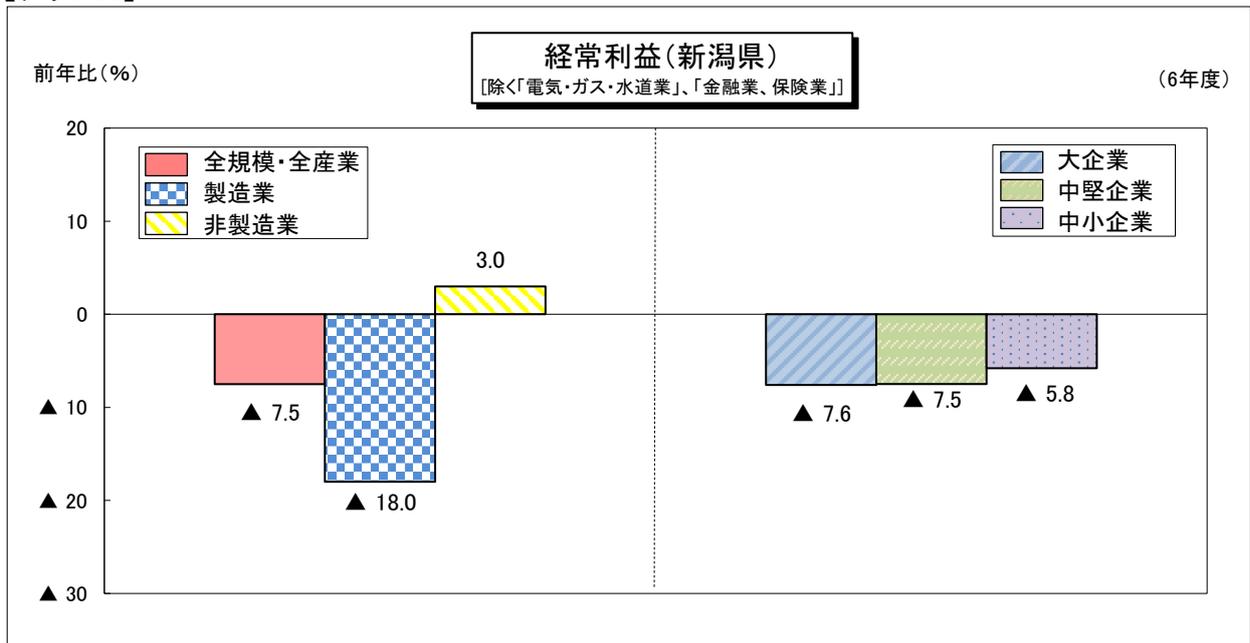
6年度は減益見込みとなっている

【グラフ10】



【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

【グラフ11】

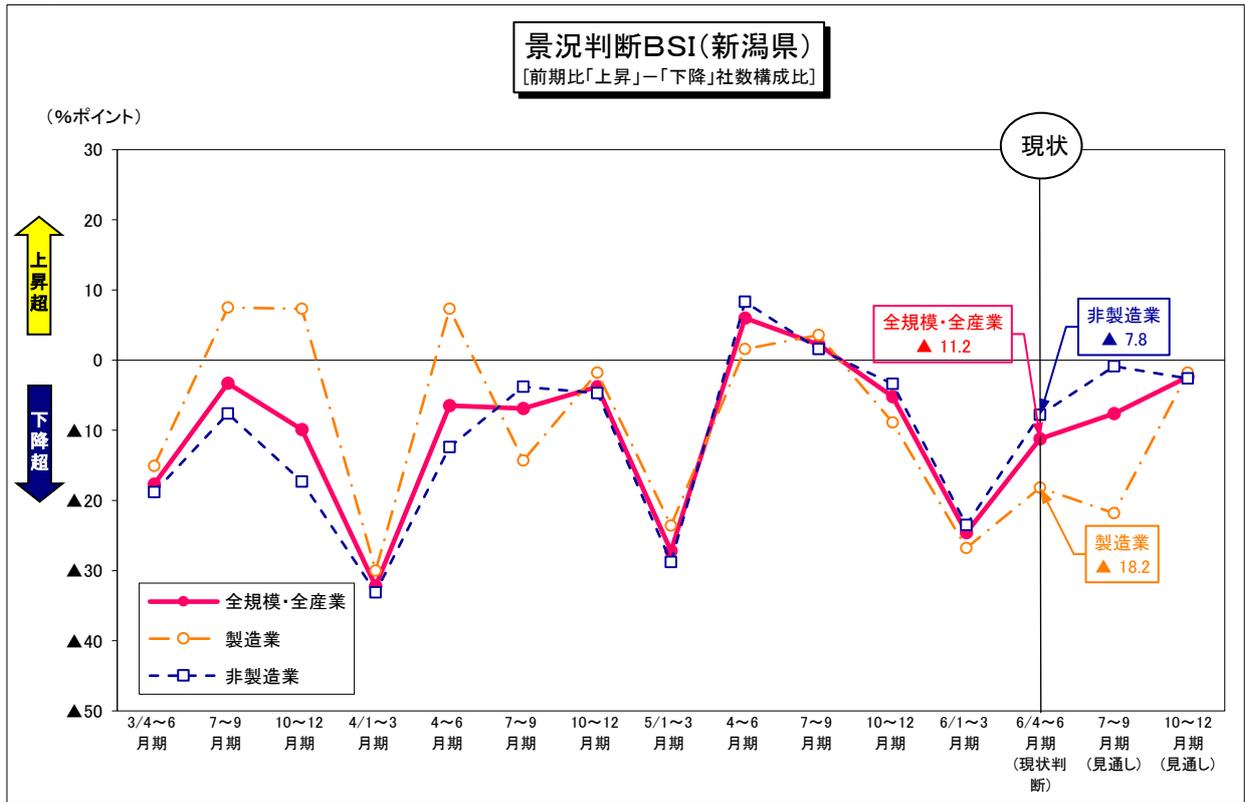


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

## 6. 企業の景況感

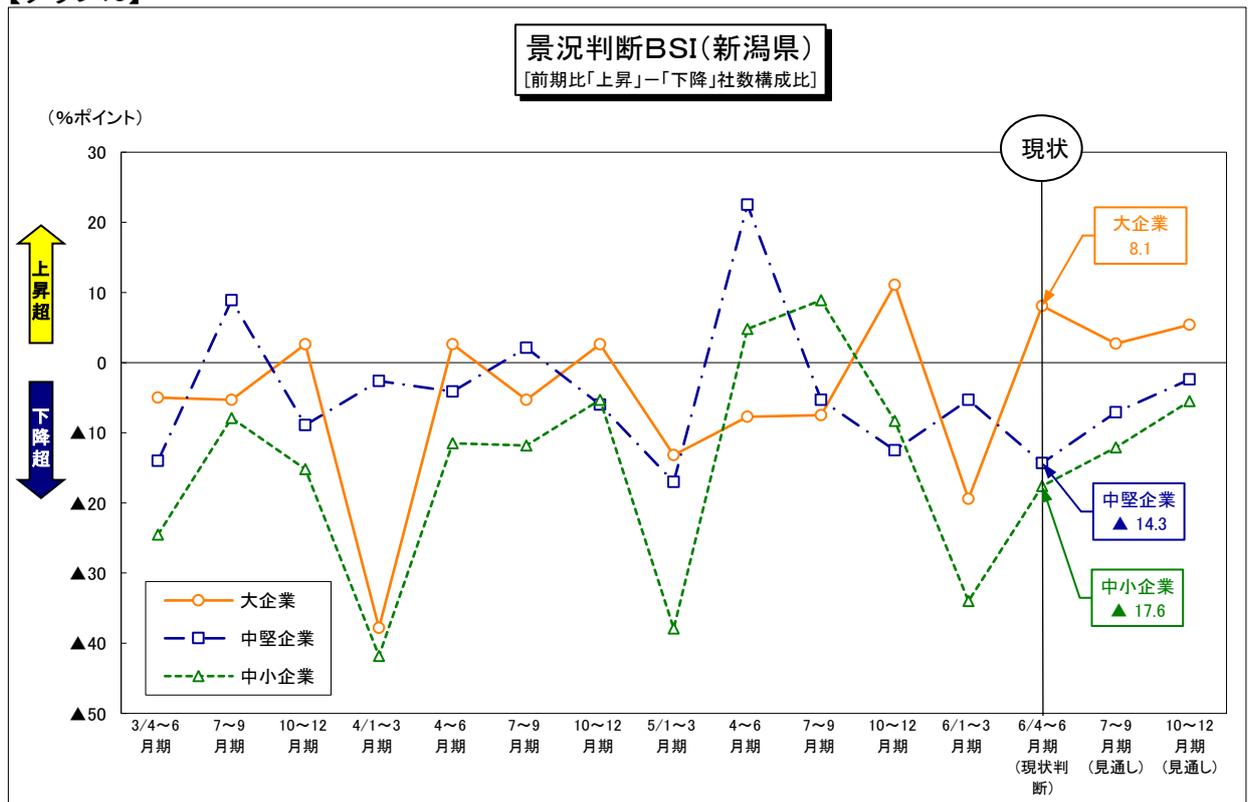
「下降」超幅が縮小している

【グラフ12】



【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

【グラフ13】

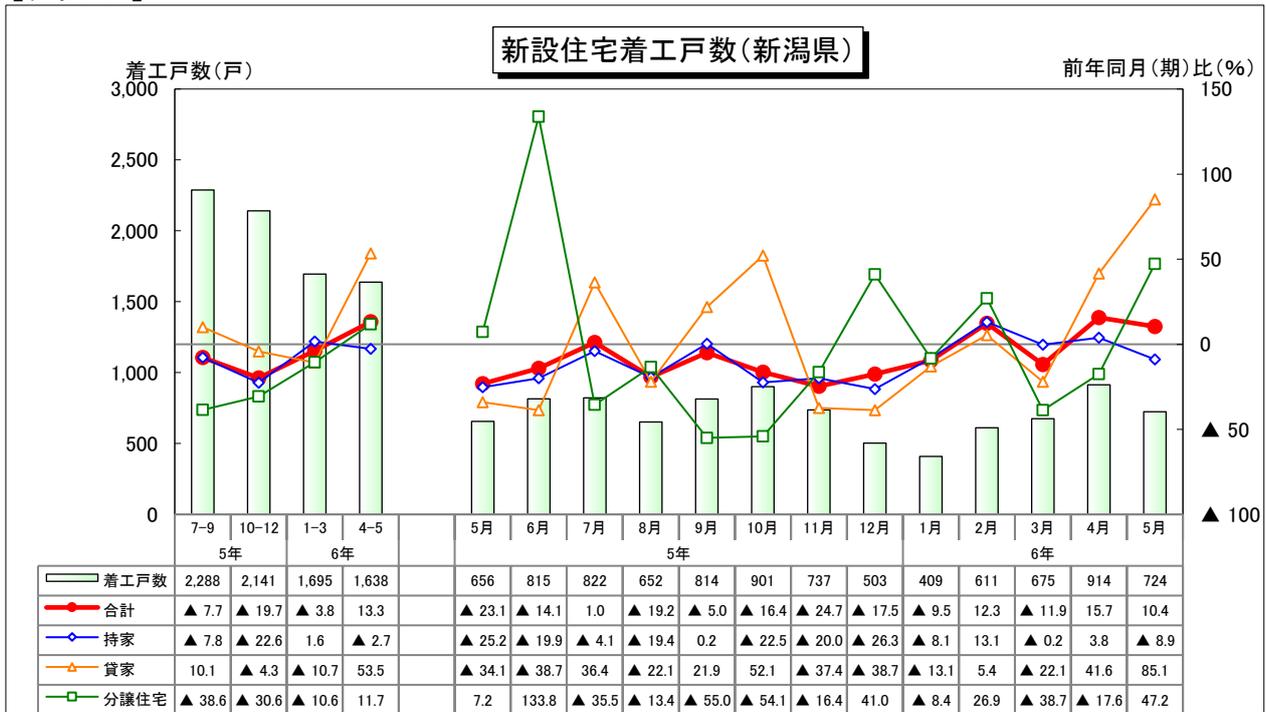


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

## 7. 住宅建設

前年を上回っている

【グラフ14】

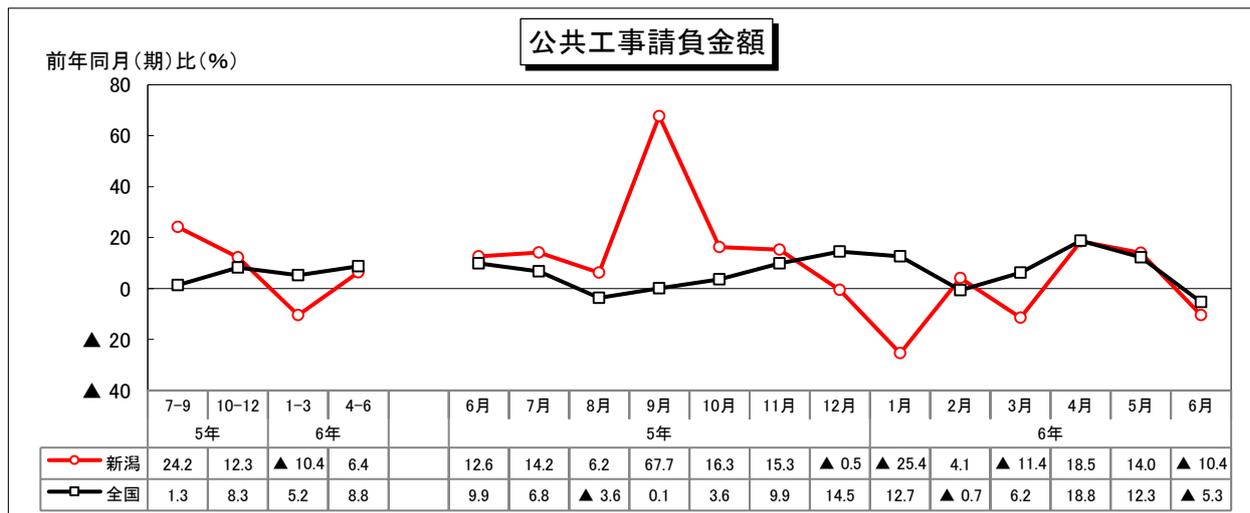


【国土交通省】

## 8. 公共事業

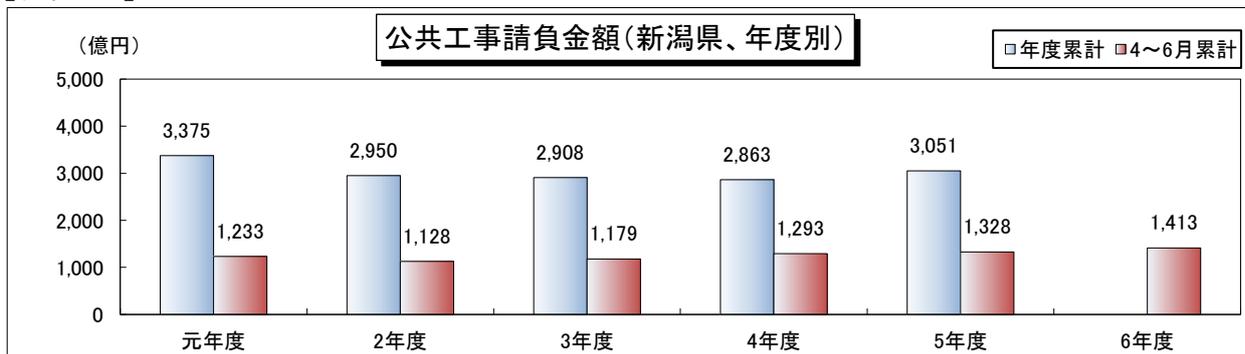
前年を上回っている

【グラフ15】



【北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)】

【グラフ16】

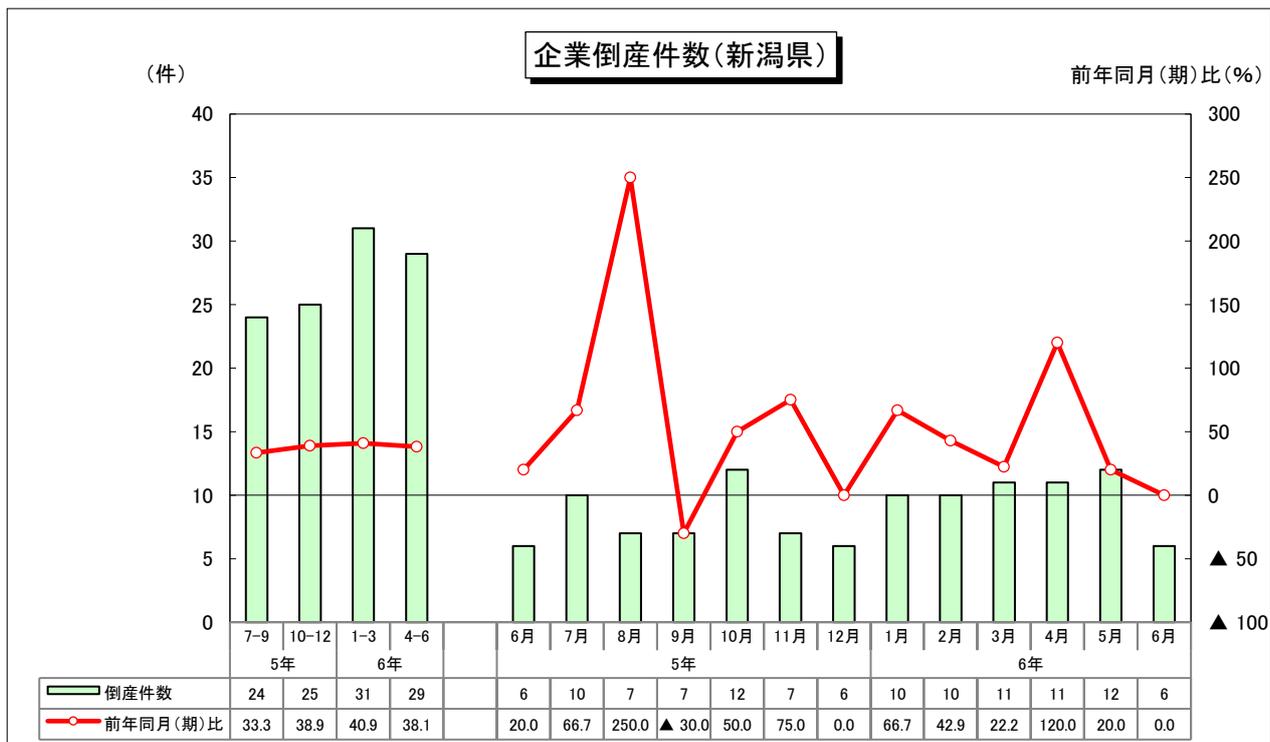


【北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)】

# 9. 企業倒産

倒産件数は前年を上回っている

【グラフ17】



【東京商工リサーチ】